

入団へ向けて意思を確認し合った（左から）八学光星高の仲井宗基監督、武岡龍世選手、ヤクルトの榎淵聡スカウトデスク、斉藤宜之スカウト
=24日、同校



ヤクルト、指名あいさつ

プロ野球のドラフト会議でヤクルトから6位指名された八学光星高の武岡龍世内野手が24日、球団関係者から指名あいさつを受けた。武岡は入団の意向を表した。「甘い世界ではないが、戦力になれるよう頑張る」と決意を示した。

同日、球団側から榎淵聡スカウトデスクと斉藤宜之スカウトデスクを訪れ、武岡のほか、小野崎龍一校長、硬式野球部の仲井宗基監督と対面した。

榎淵デスクは懇談の中で、ヤクルト内では若手内野手が不足している」とチーム事情を明かし、「チャンスはある。高校生だから時間があると思わず、一年を大事にして」と激励。武岡は高津臣吾監督の直筆メッセージが書かれた同会議のIDカードを贈られた。「期待に応えられるよう頑張る」と気を引き締めていた。

懇談後の取材で、榎淵デスクは武岡について「攻守でボールへの執着心がある。持ち味を出せれば将来希少性のある選手になる」と評価した点を挙げた。武岡は「まずは体づくり、結果を出すことを求めたい」と決意を固めていた。武岡は今後、球団と仮契約を結ぶ。12月3日の新入団選手発表会がファンへの初お披露目の場となる予定。（金濱千優希）

武岡（光星高）「期待に応える」

武岡は「まずは体づくり、結果を出すことを求めたい」と決意を固めていた。武岡は今後、球団と仮契約を結ぶ。12月3日の新入団選手発表会がファンへの初お披露目の場となる予定。（金濱千優希）